

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

25年10月4日

都道府県知事
(市長)

殿

提出者 日田市上城内製材(株)10
住所 有限会社三和牧場
氏名 代表取締役 安倍浩二
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0973-23-0669

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三和牧場
事業場の所在地	日田市清水町2026
計画期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	700頭
③従業員数	4人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	ふん尿…場内にて堆肥化 40ℓ袋詰にてホームセンター委託 死体…処理業者(日大化成)へ委託処理

(日本工業規格



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

(場長)の死亡キ → 処理業者(日大化成)へ連絡
 ↓ 各作業指示
 ○ 堆肥 → 牛房除糞 → 撈拌機で混合 → 搬入 → 各堆肥舎にて
 切替製品化 → 袋詰

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (24 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	牛糞 動物糞 8.5 t
	排出量	8.5 t
	(これまでに実施した取組) 24.2.24 ○ 各牛房ごとに大型換気扇設置 ○ 堆肥の切替しを10数回行うことにより水分調整 15%バラまき 8.5%袋詰にて全量製品化 ○ 死亡キについては、個体管理に努め、異常を早期把握	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	牛糞 動物糞 8.0 t
	排出量	8.0 t
	(今後実施する予定の取組) 24.5.0 前年度と同じように取組	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 24 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	半量 初相のん承	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1500 t	t
	(これまでに実施した取組) 2400t 堆肥化・全量製品化販売 15%ばらまき 5%袋詰		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	初相のん承	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2500 t	t
	(今後実施する予定の取組) 2450t 従来通り全量製品化販売		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 24 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	初相のん承	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	792 t	t
(これまでに実施した取組) 堆肥化による減量 該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 該当なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 (24 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	死亡牛 308kg 死体	
	全処理委託量	8.5 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 化成製場に委託処理してる。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙 紙 208kg 紙 2kg	
	全処理委託量	8 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 処理業者(日大化成)に処理委託する。		
※事務処理欄			